

医療法人 厚仁会 城北クリニック

城北クリニックは、長年ビルインで透析クリニックを営まれていました。透析治療は4時間程度の治療を週2～3回、生涯行うこととなります。患者様にとってクリニックでの治療が生活の一部となります。患者様に居心地の良い空間とアメニティ、そして最新の医療設備により快適な透析治療を受けていただきたいという院長先生のお考えの元、今回のプロジェクトがスタートしました。

立地は大変良いのですが、前面の国道と都市高速からの交通騒音と、西日の対策が課題となりました。騒音は防音サッシと防音ガラスを採用する事で気にならないレベルまで抑えています。西日は熱線反射ガラスやルーバーにより、熱負荷を軽減しました。透析室は風速の遅い特殊な空調システムを採用し、均一で快適な室内環境を目指しました。

建物内は余裕をもったスペースと天井高を確保しました。各部屋とも光をふんだんに取り入れるよう工夫し白や木目を基調とした内装とあいまって明るく清潔で暖かみのある空間を醸成しています。あわせて選定させていただいた家具やサインが空間を引き締めています。

外観デザインは柔らかなペーじュのタイルとシルバーパネルの組み合わせで、シャープさと優しさを両立させました。大きなガラスケースのサインがクリニックのシンボルとなっています。ロゴマークは、城北クリニックの「J」「葉っぱ」「ハート」をモチーフにデザインさせていただき採用いただきました。

DATA
所在地：名古屋市北区黒川本通五丁目
規模：鉄骨造 地上4階
面積：敷地面積 883.00㎡
延床面積 2081.74㎡
用途：診療所（人工透析内科）
透析40床、入院10床



国道41号線からの建物全景



建物ができるまで



設計段階
院長先生、事務長様と打合せを重ね、プランと外観デザインを決定しました。
その後、ディテールを検討しながら詳細な実施設計図面を作成し、入札により建設会社を選定しました。



着工前：まだ更地です。地鎮祭を行い、工事がスタートです。



基礎工事：支持層まで杭を打ち、基礎を施工します。



鉄骨工事：構造担当が工場にて製品検査を行い、間違いない事を確かめます。その後、現場にて鉄骨建て方を行います。



仕上工事：シートで覆われ見えなくなりますが、外壁やサッシの取付け、設備工事、電気工事、内装工事と順次進んでいきます。

私たちが担当しました



中村 裕男 【1級建築士】
設計歴38年の大ベテラン
設計部長として数多くの
医療・福祉施設の設計実
績を持つスペシャリスト。

塚田 祐一朗 【1級建築士】
設計歴8年
中村の手となり足となり
日々奮闘中。



石目と木目による落ち着いたエントランスホール。



明るく清潔感のある透析室。



木目を基調とした暖かみのある病室。